

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2024年(令和6年)8月25日号 No.1966

目次

■ 2023年の印口貿易の総括と展望	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2024年9-10月号のご案内	11
■ 統計速報	12
2024年1～6月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／12	
2024年1～6月の日口貿易／13	
■ トピックス	16
岸田首相、中央アジア・モンゴル訪問を中止／16	
中央アジア+日本ビジネスフォーラムを開催／16	
JBIC、中央アジア関連で3つの覚書を締結／16	
三菱UFJ、ウズベク政府とデジタル分野で協力覚書締結／17	
JAL、エア・アスタナとコードシェア開始へ／17	

2023年の印口貿易の総括と展望

(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所
部長 齋藤 大輔

はじめに

ロシアと米欧の対立が長期化する中、インドがロシアとの連携を強化している。昨年の貿易額は646億ドルと過去最高を更新した。2023年の印口貿易を振り返るとともに、今後を展望してみたい。

1. 原油爆買いで過去最高を更新

昨年1年間のロシアとインドの貿易額は、侵攻前の2021年と比べると約5.6倍、10年前と比べると約10.8倍に増加した。なかでもインドのロシアからの輸入は、2021年と比べると約7.3倍、10年前と比べると約16.0倍に急拡大した。

インド商業産業省が発表した貿易統計によると、昨年1年間のロシアとインドの貿易額は646億4,259万ドルとなった。これは、前年を75.1%上回り、初めて500億ドルを超え、過去最高となった。

インドは、ロシアによるウクライナ侵攻と西側諸国によるロシアへの経済制裁を巡り、西側と良好な関係を保つ一方、対口制裁に加わずに、ロシアとも良好な関係を維持する。2023年も引き続き、米欧がロシアからの原油や石炭の輸入を減らした分、インドが輸入を増やし、減少した米欧の分を買った。ロシアと米欧の対立が長期化する中、ロシアとの経済的な結び付きを深めている実態が